

亜硝酸リチウム配合ポリマーセメント系鉄筋防錆材

NC 防錆ペースト

- NEXCO 構造物施工管理要領「鉄筋防錆材の性能照査項目」適合品
- 日本建築学会 鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断および補修指針(案)・同解説 付 1.3 「鉄筋コンクリート補修用防せい材の品質基準(案)」適合品

【標準施工要領書】

平成26年 4月 5日



二瀬窯業株式会社

1. 調合

NC防錆ペースト		練り上がり量	標準塗布量
主材 (セメント系粉体)	5 kg	3.67 L/セット	1.4 kg/m ² (1 mm厚)
混和液A (アクリル酸エステル共重合体)	1.3 kg		
混和液B (亜硝酸リチウム水溶液)	0.2 kg		
清水	0.4~0.6 kg		

混和液Aは、混練前によく振ってから使用してください。

2. 施工方法

2-1. 下地処理

- ・ コンクリートの脆弱部分や硬化不良部や浮き、劣化部位や油分は除去し、健全な下地を露出させてください。
- ・ 鉄筋表面の錆は、サンドブラストやワイヤーブラシ等を用いてサビ落としを確実に行ってください。錆落とし後の鉄筋は、発錆しやすい状況にあるため、おおむね2時間以内にNC防錆ペーストを塗布してください。

※ 浮きや剥落の原因となりますので、下地の清掃は入念に行なってください。

2-2. 材料の混練

- ・ 混和液A、混和液Bと水道水を予め練り容器でハンドミキサー等で軽く混ぜ合わせておき、その後、ハンドミキサーを攪拌しながら主材を投入し、2分~3分間練りダマがでないように混練してください。

※ 強度低下等の恐れがありますので、主材と混和液Aと混和液Bと水道水の調合割合は厳守してください。

※ 混練後は、夏期30分 冬期60分以内に使い切るようにし、練り足、水を加えての練り戻しは避けてください。

2-3. 塗り付け

- ・ 鉄筋が十分に乾燥してから、刷毛で1mm厚で鉄筋全周に塗布してください。その際、鉄筋のリブが隠れないようにしてください。標準塗布量：1.4 kg/m²

2-4. 養生

- ・ 通風や直射日光を避け、必要に応じてシート掛け等の養生を行ってください。
- ・ 初期の雨掛かり等は、強度不足や白華の恐れがありますので、シート掛け等の養生を行ってください。

- ・ NC防錆ペースト塗布後、指触硬化を確認後、断面修復材の施工を行って下さい。

参考文献

- 1) NEXCO構造物施工管理要領 3 保全編 3-5 断面修復 3-5-6 施工 1) 腐食鉄筋処理

3. 注 意 事 項

- ・ 気温が5℃以下及び5℃以下になりそうな時、または35℃以上及び35℃以上になりそうな時は原則として施工を行わないでください。
- ・ 直射日光や降雨などに十分注意し、養生は確実に行ってください。必要ならばシート養生などを行ってください。
- ・ 固まったものの使用は避けてください。
- ・ NC防錆ペーストには、混和液A、混和液B、水道水のほか、弊社が特に指定するもの以外は混入しないでください。
- ・ NC防錆ペーストの保管は、直射日光、湿気を避け、パレット等で地面から離して保管してください。
- ・ 材料の品質保持期間は製造後6ヶ月です。